

京都府流域下水道事業経営審議会第6回投資部会（開催結果）

1 日 時 令和7年8月4日（月） 午後1時～2時30分

2 場 所 京都ガーデンパレス「鞍馬の間」

3 出席者 委 員 岩崎委員、川池委員、田中委員、西垣委員
（5名中4名出席） ※藤木委員が欠席

京都府 曾和建設交通部公営企業管理監兼副部長、
西崎公営企業経営課長、工藤下水道政策課長 他

4 結果概要

- 田中委員を部会長に選出
- 「京都府流域下水道事業経営戦略」中間見直し中間案の投資関係について審議
- 「下水道管理のあり方検討部会」を次回経営審議会で設置予定であることを報告

5 主な意見

- ・ 経営戦略全体について、現行の経営戦略からどういった視点で何を見直したのか分かるようにしていただきたい。
- ・ 汚泥処理の広域化・共同化については、他手法との比較・検証が必要。
- ・ 投資額や維持管理費の増が市町負担金へどう影響するのか説明が必要。
- ・ 市町負担金の上げがやむを得ない場合でも、市町への負担軽減のため京都府側で経費節減に努めている姿勢を示すことが必要。
- ・ 耐震化や老朽化対策は国土強靱化予算の積極的な活用を検討すべき。
- ・ 汚泥処理施設の更新においては、民間事業者の活用も事業手法の一つとして検討されたい。
- ・ 災害への対策として、地震対策は計画的に実施されているが、耐水化も重要なのでしっかり取り組んでいただきたい。
- ・ 呑龍トンネルの浸水対策については、流域治水対策の一つとして市町の対策とも十分に連携を図られたい。
- ・ 投資計画どおりに執行できていない期間があるが、ストックマネジメントにより計画的な改築更新を実施し、結果として事業費の平準化が市町負担の軽減につながっている点も説明された方がよい。
- ・ 人手不足や職員の高齢化もあって、流域下水道事業の執行体制確保も大きな課題となるので、説明に加えるべき。

以上